

2017年度（平成29年度）事業計画

はじめに

1. 日中関係は依然として厳しい状況が続いているが、そうしたなか、昨年9月、杭州で行われた杭州 G20 サミットと11月にペルーで開かれた APEC 期間中には、習近平国家主席との首脳会談が開かれるなど、停滞から少しずつではあるが、前進の兆しが見えつつあります。
2. 本年は、8月の日中友好交流都市中学生卓球交歓大会の開催をはじめとする国交正常化 45 周年関連事業の準備、実施とともに、2018 年の日中平和友好条約締結 40 周年記念事業の準備の年となります。
3. 協会は、国交正常化 45 周年および平和友好条約締結 40 周年を組織強化の契機とし、あらためて会員の拡大や財政の確立をはじめとする組織の整備を図ります。
4. 日中両国国民の相互理解の促進と相互信頼の構築を図る事業を基礎におき、友好関係の発展のため一層の努力が必要です。

平成 29 年度の事業計画は以下の通りである。

1. 交流事業の促進

- (1) 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会
主催：(公社) 日本中国友好協会、(公財) 日本卓球協会
中国日本友好協会、中国卓球協会
期間：8月3日～8日 会場：中国オリンピックセンター体育館（北京）
日中国交正常化 45 周年記念事業
- (2) 日中友好卓球大会
主催：(公社) 日本中国友好協会、(一社) 東京華僑総会
(公財) 日本卓球協会、東京華僑華人互助センター
期間：10月7日 会場：有明スポーツセンター
日中国交正常化 45 周年記念事業
- (3) 日中女性フォーラム
主催：(公社) 日本中国友好協会
期間：11月4日 会場：日本青年館
日中国交正常化 45 周年記念事業
- (4) 各種代表団等の派遣と受け入れ
 - ①協会代表団をはじめ経済、女性及び青年等の訪中団の編成・派遣
 - ②中国関係機関からの代表団や訪日団の受け入れ
- (5) 青少年交流の実施

- ①日中友好大学生訪中団（1 団 100 名程度）の派遣
4 団派遣。受入：中日友好協会。
- ②第 7 回宋慶齡国際青少年交流キャンプへの派遣
主催：中国宋慶齡基金会
英語を共通語として、世界 30 か国余りの高校生と交流。

(6) 専門分野別の日中交流の促進

2. 中国政府奨学金生（以下「公費留学生」とする。）の募集・選考・派遣

(1) 2017 年 9 月に留学する公費留学生の派遣。

- 4 月中旬 中国政府に推薦。
- 7 月下旬 中国政府より決定通知。
- 8 月上旬 研修会の開催。
- 9 月上旬 留学。

(2) 2018 年 9 月に留学する公費留学生の募集・選考

- 1 月 応募受付。
- 2 月中旬 書類選考。
- 3 月上旬 面接試験の実施。

3. 中国語普及事業

(1) 第 35 回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会。

- 2018 年 1 月 7 日東京で開催。
- 出場者エントリー 11 月上旬、テープ審査 11 月下旬。
- 都道府県日中友好協会（以下「県協会」という）は、10 月下旬までに予選の大会を開く。

(2) 第 44 回日中友好中国語夏期スクーリング。

- 7 月下旬から 9 月初めまでに開く。

4. 友好都市間の交流の促進

- 友好都市の締結及び友好都市間の交流の支援。とりわけ青少年交流と文化交流を促進する。

5. 中国の環境・福祉等の問題改善への支援と緑化事業について

- 中国が抱えている大気汚染・汚水等の環境や高齢化社会に関する医療・介護等の問題の改善につながる交流事業の取り組み。
- 緑化事業は、中国の関係機関と意見交換を行い、今後の対応を検討。

6. 会報「日本と中国」の発行事業

- タブロイド版 1 2 ページ。毎月 1 回(1 日付)年間の 1 2 回発行。
- 各地で実施されている友好事業の紹介と中国理解に役立つ情報の紹介を通じて日中の相互理解に貢献。

7. 出版事業

- (1) 友好手帳 2018 年版の製作・発行
- (2) 雑誌「人民中国」の販売
- (3) 平山郁夫作品カレンダー2018 年版の販売

8. 丹羽宇一郎奨学金

丹羽宇一郎会長の寄付を浄財に在日中国人留学生を支援する奨学金生の募集、選考を行い、奨学金を支給する。

- | | |
|-------|----------|
| 10 月 | 応募受付。 |
| 11 月 | 書類審査。 |
| 3 月上旬 | 選考試験の実施。 |

9. 展覧会等の開催

(1) 何香凝芸術名作展の開催

中国深圳・何香凝美術館所蔵の作品を展示
主催：何香凝美術館、(公社) 日本中国友好協会
期間：9 月 5 日～15 日 会場：上野の森美術館

10. 中国知識検定の実施に向けての研究・準備。

11. 2018 年日中平和友好条約締結 40 周年に向けて記念事業の準備

- (1) 青少年交流
- (2) 囲碁交流
- (3) 書道交流

12. その他の事業

- (1) 2018 年日中友好新年会の開催
1 月下旬東京で開催。
- (2) 講演会や展示会等の開催
- (3) 日中友好 7 団体等関係団体との提携・協力

13. 県協会の活性化

- (1) 協会の会員である県協会は 40 組織ある。未加入の組織には加入の働きかけを行い、組織がない県については県協会の再建に取り組む。47 の都道府県すべてに組織が存在し、国民の期待に添えるよう努める。また、すべての県協会がホームページを持つことができるよう努める。
- (2) 東西 2 ブロックに分けて協会実務者会議の開催
- (3) 日中友好セミナーの開催

以 上